

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和2 年 2月 1日

事業所名：スポーツとまなびのひろばSAIYO

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	机を動かし、子ども達が活動できるスペースの確保を行っている。	自由遊びなどでは少し手狭に感じますが、運動トレーニングの内容は工夫されているので十分なスペースだと思います。 はい25、どちらともいえない4、いいえ1、わからない0	今後も安全面を優先にスペースの確保に努めていく。
	2	職員の適切な配置	子どもの状況に応じて職員の配置を行っている。	はい23、どちらともいえない2、いいえ1、わからない4	子ども達が来所した時の様子をシュミレーションしておき、安全に過ごせるように職員で連携を取っていきます。また、ホームページ上に職員の名前や資格など公表していきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレ以外はバリアフリーとなっている。ホワイトボードに掲示をし、見通しが持てるようにしているが、個に応じた配慮となると環境面では不足がある。	はい21、どちらともいえない2、いいえ0、わからない6 未記入1	集団での活動に重きを置いているため、不足はあるが現状を維持しながら個別にも対応していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、清潔感を保つようにしている。	家に帰ってくると靴下がいつも真っ黒になる。迎えに行くとき空気が悪い。 はい25、どちらともいえない2、いいえ1、わからない2	外の音が聞こえると集中できないことがあり、窓を開けず冷暖房で調節している。運動を行うため、上靴を持ってきてもらうよう話をしているが、難しい場合もあるため、大掃除を定期的に入れて清潔感が保てるようにしていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティングなどで話し合いの場をもっている。	/	継続して話し合いの場をもつようにしていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は行っていない。	/	必要に応じて実施していく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の事業所内での勉強会を実施している。また、外部の研修案内を職員に周知しているが、療育と重なることが多い。研修に行く回数を増やしたい。	/	職員の資質向上、よりよい療育を提供できるよう研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントに基づき、計画を立て保護者に説明、職員間で共有に努めている。	・モニタリングでしっかりと意見を聞いて頂け、適切な具体策を指導してもらって助かっています。 ・面談など直接の話し合い、確認の場が年に数回でもあるとよりよいと思いました。 ①はい29、どちらともいえない1、いいえ0、わからない0 ②はい26、どちらともいえない2、いいえ0、わからない2	現状を維持していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々のミーティングで話し合い、個々の子どもの状態に合わせて活動の計画をたてている。集団活動が主になるため、個人にかかわることは個人の計画として取り入れている。	/	現状を維持しながら、個人にかかわるご家族のニーズを取り入れながら計画をたてていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個人の課題や課題に対する目標を記載している。	/	現状を継続しながら課題や目標を職員間で共有できるようにしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画は、職員全員が確認できるよう個人ファイルに綴じ	はい28、どちらともいえない0、いいえ0、わからない2	ミーティング、終了後の振り返りを継続し、職員間での情報共有に努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	療育プログラムに沿って活動プログラムをたてている。土曜日や合同イベントの計画についても話し合いの場を設けている。	⑦はい22、どちらともいえない4、いいえ1、わからない3	継続して話し合いの場をもち、チームで取り組んでいきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	要望に応じて対応している。		今後も継続してご家族の要望に対応していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	療育プログラムに沿って活動プログラムをたてている。		現状を継続しながら、1週間、1ヶ月の目標も立てていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日開始前のミーティングで支援内容や役割分担の確認を行っている。		ミーティングを継続して行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了後に職員間で振り返りや気づいたことを話し合い、情報の共有を図っている。また、その日の活動内容についても記録し、ファイリングしている。		今後も継続して行っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の活動状況などを記録している。また、ミーティングで子どもの年齢に応じた支援ができているか検証し、改善を行っている。		今後も継続して行っていく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的ではないが、確認をし計画の見直しに取り入れている。		定期的に行うよう改善していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議としてはないが、同様の会議の出席依頼があった時は参加している。		依頼があったときには参加するようにしていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童の受け入れはありません。		該当児童の受け入れはありません。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童の受け入れはありません。		該当児童の受け入れはありません。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今までそのような場が開かれたことがなかったため、実施していない。		今後、依頼があった場合は情報提供を行っていくが、対応を検討していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	障害福祉サービス事業所へ移行する子がいないため、実施していない。		今後、事業所として情報提供が可能であることを保護者に周知し、対応を検討していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に参加したり、専門機関での研修にもスタッフが参加できるようにしている。		今後も継続して参加していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保護者からも特に要望がないため、行っていない。土曜日のイベントで施設外に出る時に交流することもある。	週1回の短時間での通所なので、この部分は求めています。(定形のお子さんとは学校や家で交流することができるため) 知る限りではそういった交流会のようなものは行われていないと思います。 はい6、どちらともいえない4、いいえ6、わからない14	保護者からのニーズがあれば交流を検討するが、放課後友達との交流があるお子さんが多いので積極的には考えていない。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	会社としては自治会に加入しているが、事業所主催の行事の実施や実施予定はない。		行事として地域との交流を行う計画はないが、自治会などを通して地域の交流の場を持てるようにしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の時に行っている。また、質問があった場合は適直行っている。	はい28、どちらともいえない0、いいえ1、わからない0 未記入1	今後も継続して行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談を行い、説明をしている。	定期的に計画を説明しなおしてほしい。 はい27、どちらともいえない1、いいえ0、わからない2	定期的に行えるよう改善していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今年度実施できなかったが、今後行う予定にしている。	参加したことがないのでわかりません。 はい21、どちらともいえない3、いいえ2、わからない4	実施に向けて検討をし、保護者に対する支援を提供できるようにしていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳などでその日の様子や活動内容を報告している。	連絡帳や送迎の時に色々お話しを聞くことができています。 はい26、どちらともいえない3、いいえ1、わからない0	今後も継続して行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があればその都度対応している	面談は少ないです。 年に1.2回のペースで面談はして頂いています。通所日数が少ないため、先生方とお話する機会があまりないので少し残念に思っています。 はい17、どちらともいえない10、いいえ2、わからない1	面談以外にも保護者との話ができる機会を増やしていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会はないが、療育発表会を設け保護者同士が交流する場を作っている。	たまに参観日はあるが、保護者同士の連携はないかと・・・。保護者会などはありませんが、年1くらいのペースで参観日を設けて頂いているので満足しています。 はい10、どちらともいえない6、いいえ6、わからない8	要望があれば、保護者会の活動の機会を提供していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対し、すぐに対応するようにしている。	特に苦情を出したことがないので、よくわかりませんが普段から迅速丁寧に対応して頂いているので安心しています。 はい15、どちらともいえない2、いいえ1、わからない11 未記入1	苦情があった場合は、真摯に対応していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳、送迎時、電話などで行っている。	子どもと先生の言っていることが違うことがあるので困惑する時があります。 リトムノートに詳細な行動を記入して頂けています。 はい26、どちらともいえない1、いいえ1、わからない2	職員間での情報共有を行い、誰が対応しても同じ内容を伝達できるようにしていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回通信を発行したり、ブログやフェイスブックで情報の発信を行っている	こまめに更新されていたブログが最近更新が減って、最近の様子がわからなくなってきました。 はい26、どちらともいえない2、いいえ1、わからない1	月1回の通信を継続して発行することとブログの更新が滞らないようにし、情報発信を行っていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を社外に持ち出さないようにしている。個人情報に関する同意書を保護者からいただきます。	ブログでは顔は隠されているがボードに貼られた写真は隠されていなかったのが気になりました。わかりませんが、普段の対応から信頼できると思っています。 はい22、どちらともいえない0、いいえ0、わからない7 未記入1	ご指摘いただいたブログは、すぐに修正しました。背景についても注意を払い、個人情報の取り扱いには慎重に対応を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約の時に説明はしているが、保護者へマニュアルの周知までは至っていない。	入所当初に契約書のようなものはきちんといただいています。 はい14、どちらともいえない5、いいえ0、わからない10 未記入1	保護者へマニュアルを書面で配布できるようにしている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を年間3回行っている。	週1の通所なので、そのへんの訓練などについてはわからないですが、普段の対応から信頼できると思っています。 はい10、どちらともいえない3、いいえ1、わからない16	避難訓練を実施したことを周知できるようにブログ、通信などでお知らせしていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部の研修に参加している。		今後も継続して行く。関係機関との連携を行い、対応している。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行っていない		身体拘束の必要が生じた場合は、ご家族、本人にも説明を行い、支援計画にも記載を行っていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から情報をいただき、職員に周知している。		重篤なアレルギー症状をもつお子さんの利用がないため、保護者からの情報提供にて対応しているが、必要に応じてご家族から医師の指示書をいただき、対応していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故報告書の作成を行っている。		今後も継続して行い、安心して利用してもらえるように努める。